

2024年5月12日

指導者の皆様へ

東総U12大会運営委員会
会長 山崎 貴史

緊急メッセージ

日頃から、皆様には東総並びに千葉県のバスケットボール界発展のため、ひとかたならぬ御尽力をいただき、衷心より感謝申し上げます。

さて、近年、様々な不祥事が報道される中、とりわけ選手・児童生徒に対する暴力や暴言といった体罰の事案は、バスケットボールをこよなく愛する者として、最も憂うべきことと認識し、心を痛めております。

このような中、公益財団法人日本バスケットボール協会をはじめ県協会、U12カテゴリー一部会は「暴力暴言根絶」を宣言し、先だつてのU12カテゴリー一部会「指導者研修会」では、いかなる暴力行為とも決別することの研修を行いました。さらに東総U12大会運営委員会でも、理事会をはじめ、あらゆる機会を通して、暴力や暴言といった体罰のないバスケットボールの推進についてお願いをしてきたところです。

しかし、残念なことに、暴力や暴言といった体罰の事案が東総地域からなくなることがなく、未だに、JBAをはじめ、県協会に苦情や問い合わせが入っているそうです。とても、残念です。

「大声で怒鳴る。」「児童の人格を否定する言動をとる。」等の暴言。叩く、蹴とばす。頭や体をつつく等の暴力。はあつてはならないことです。また、周りから見て、疑いをもたれるような言動、子どもに対してだけでなく、審判にクレームを入れる。保護者に高圧的な態度をとる。等についても厳に慎むべきです。

子ども達が、「バスケットボールが楽しい、またやりたい。もっとやりたい。」と思えるように、東総の地から、暴力や暴言を根絶して行こうではありませんか。同意いただけない指導者は、残念ながら、東総での活動を容認していくことはできません。「優秀な指導者だ」「チームを強くしている。」と、言われていても、「暴力や暴言」をするような指導者は東総には必要がないのです。

皆様の御理解と御協力なくして、東総の地のバスケットボールの未来を切り拓くことはできません。どうぞ主旨を御理解の上、みなさん全体が一致団結して、指導者の人間力を高め、指導力を磨き、そして東総の組織力を千葉県一、日本一にしていただけるよう強く願うばかりです。

つきましては、皆様には、暴力暴言のない指導者としてプレイヤーのより良き成長と環境づくりのため、引き続き御尽力いただきたく、心よりお願い申し上げます。